

Michie Koyama Suntory Hall Series

小山実稚恵デビュー40周年記念公演／サントリーホール開館記念日公演

小山実稚恵

サントリーホール・シリーズ



Concerto
《以心伝心》
2025



2025年10月12日(日) 15:20開場／16:00開演

Sunday 12, October 2025 at 4 p.m.

小山実稚恵デビュー40周年記念公演
サントリーホール開館記念日公演

小山実稚恵

サントリーホール・シリーズ



Concerto 《以心伝心》 2025



チャイコフスキー：ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 作品23

P. I. Tchaikovsky: Piano Concerto No. 1 in B-flat minor, op. 23

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18

S. Rachmaninov: Piano Concerto No. 2 in C minor, op. 18

小山実稚恵 (ピアノ)

Michie Koyama, piano

ウラディーミル・フェドセーエフ(指揮)

Vladmir Fedoseyev, conductor

東京フィルハーモニー交響楽団 &
フェドセーエフ・フレンズ

Tokyo Philharmonic Orchestra &
Fedoseyev Friends

海外での私の初コンチェルト演奏はチャイコフスキーコンクール本選会の舞台。オーケストラはモスクワ放送交響楽団、指揮はウラディーミル・フェドセーエフ。私にとって夢のような舞台でした。そこで演奏したのが、まさに今回の2曲のコンチェルト、チャイコフスキー第1番とラフマニノフ第2番でした。初めて受けた海外コンクールでも何かもが初めて尽くし。挙句の果てにはチャイコフスキーのコンチェルトはオーケストラと初共演でした。そのチャイコフスキー冒頭の豊潤なホルンの響きから、フェドセーエフさんとの深いご縁が始まったのです。以来さまざまな作品を共演させていただきましたが、演奏の度にフェドセーエフさんの指揮から紡がれる心あたかな音楽、そして作品をいつくしむ「心の音楽」に、魂を揺さぶられています。

今フェドセーエフさんのメッセージを読んで、胸いっぱいになっています。

『以心伝心』の最終回、この2曲のロシア音楽を初心にもどって奏でたいと思っています。

同じ空の下で、世界は一つに繋がっています。銀河にきらめく星を世界中の人が眺め、何かを感じるように、心に打ち寄せる音楽を世界中の人が聴いて、何かを思う。2曲のコンチェルトにいろいろな想いを込めたいのです。

小山実稚恵



©上野隆文



小山実稚恵 (ピアノ) Michie Koyama, piano

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキーコンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍し続けている。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、数多くの演奏会にソリストとして指名されている。『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして...』が、その演奏と企画性で高く評価された。本年、デビュー40周年を迎え、本公演がその記念公演にあたる。加えて、本公演は2022年にスタートしたサントリーホール・シリーズ第1シーズン〈以心伝心〉の最終回となる。

また、ショパン、チャイコフスキー、ロン・ティボー、ミュンヘンなど、国際音楽コンクールの審査員も務める。東日本大震災以降は、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した『子どもの夢ひろば"ボレロ"』を開催。

チケットお申込み

サントリーホールチケットセンター
0570-55-0017 (10:00~18:00、休館日除く)
suntory.jp/HALL/

イープラス eplus.jp
チケットぴあ t.pia.jp (Pコード: 300-591)
ローソンチケット l-tike.com (Lコード: 32869)

今年も、小山実稚恵の《以心伝心》の季節が来る。早いもので、シリーズ最終章を迎える。

毎回、異なるオーケストラ、指揮者を迎えて名演を繰り広げてきたこのシリーズ。

今秋は、その掉尾を飾るに相応しい特別な演奏会となる。小山実稚恵が敬愛する巨匠ウラディーミル・フェドセーエフを招き、東京フィルを主体として、モスクワから演奏家たちが駆けつけ、特別オーケストラが編成されるのだ。

そして一ロシアン・プログラム。深遠まで見透すピアノの響き。大波のように迫り来る豊かな情感。

小山実稚恵の真骨頂が眼前に広がるに違いない。

おりしも、公演日の10月12日はサントリーホール開館記念日。加えて今年2025年は、小山実稚恵デビュー40周年にあたる。格別の年、格別の日に催される演奏会なのである。そして、来る2026年のサントリーホール開館40周年へと歩みは続く。

小山実稚恵と聴衆がともに寿ぐ2025年、2026年。小山実稚恵が紡ぐ悠久の流れに身を委ねようではないか。

日本の親愛なる友人の皆様へ

ミチと私は、長い間、創造的活動を通じて友情を育み、限りない信頼関係を築いてきました。チャイコフスキー・コンクールにおける出会いは、本当に幸せなことでした。当時、彼女は音楽と愛に満ちて輝く少女でした。彼女がすぐに私にとって特別な存在になったのは、何の不思議もありません。日本とロシアで私たちは共演を重ねてきました。音楽や人生について語り合い、食事を、お酒を共にし、そこには常にたくさんの笑顔がありました。一瞬一瞬全てが素晴らしい思い出です。

この10月、東京フィルの皆さんと私が50年指揮を執ってきたチャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラの仲間たちと共に、親愛なるミチの記念を祝えることを光栄に思い、心待ちにしています。

ここモスクワでも夏の訪れを感じるようになり、日本に出向く準備をしています。

愛を込めて

ウラディーミル・フェドセーエフ

東京フィルハーモニー交響楽団&フェドセーエフ・フレンズ TOKYO PHILHARMONIC & Vladmir Fedoseyev's Friends

1911年に創立され日本で最も古い歴史と伝統を誇る東京フィルハーモニー交響楽団を主体とし、フェドセーエフと40年以上にわたりパートナーシップを築いてきたチャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラのメンバーにより特別編成されたオーケストラ。

東京フィルは、サントリーホール、Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後」のコンサート、「ハートフルコンサート」「ニューイヤークンサート」「第九特別演奏会」など、クラシック音楽を広く普及させる自主公演の他、新国立劇場のレギュラーオーケストラとしてオペラ・バレエ演奏、『NHKニューイヤークンサート』『プラボー！オーケストラ』『名曲アルバム』『クラシックTV』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあっ！』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、33枚をリリース。近作の2つのベートーヴェン・アルバム『ハンマークラヴィーア・ソナタ他』と『ピアノ・ソナタ第30、31、32番』は、深化するピアノズムが大きな話題を集めた。最新アルバム『モノローグ』まで7作連続して「レコード芸術」特選盤に選ばれている。著書として『点と魂とスイートスポットを探して』をKADOKAWAより、また平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』(全2巻)を音楽之友社より出版している。

2005年度 文化庁芸術祭大賞、2013年度 東燃ゼネラル音楽賞、2013年度レコード・アカデミー賞、2015年度 NHK交響楽団「有馬賞」、2015年度 文化庁芸術祭優秀賞、2015年度 ミュージック・ベンクラブ音楽賞受賞、2016年度 芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2018年度 大阪市市民表彰を受ける。2017年度には、紫綬褒章を受章している。

〈次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお買い求め下さい〉

- ①やむを得ない事情により、曲目等が変更になる場合がございます。公演中止を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更等はできません。②いかなる場合もチケットの再発行はできません。紛失等には十分ご注意ください。
- ③演奏中は入場できません。④就学前のお子様はご入場いただけません。また、就学児以上のお子様もご入場には1人1枚のチケットが必要です。⑤全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑥場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は固くお断りいたします。⑦ネットオークション等によるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑧他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。



©Anja Kohler

ウラディーミル・フェドセーエフ(指揮)
Vladmir Fedoseyev, conductor

1932年レニングラード(現 Санкт-Петербург)生まれ。地元のムソルグスキー学校で音楽の教育を受けたのち、モスクワのグネーシン音楽アカデミー及びモスクワのチャイコフスキー音楽院のレオ・ギンズブルグ教授のもとで学ぶ。1971年、伝説的な指揮者であるエフゲニー・ムラヴィンスキーからレニングラード・フィルハーモニー管弦楽団の客演指揮者として招かれたことをきっかけに、輝かしいキャリアがスタートした。

1974年、モスクワ放送交響楽団(現チャイコフスキー・シンフォニー・オーケストラ)の音楽監督及び首席指揮者に就任。以後半世紀にわたるパートナーシップを築いてオーケストラをロシアのトップクラスの楽団に育て上げ、世界ツアーを通じて海外での評価も確立している。

フェドセーエフは、叙情的なロシア作品でも重厚なヨーロッパ作品においても、国民的特性を存分に引き出した演奏することに定評がある。ロシア以外でも、バイエルン、ケルン、シュトゥットガルトの各放送響、ベルリン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ハンブルク・フィル、フランス国立管、フランス国立放送フィル、ベルギー国立管、チューリヒ・トーンハレ管、クリエヴランド、デトロイト、ピッツバーグ等欧米各国のオーケストラにも客演。さらに1996年より東京フィルハーモニー交響楽団の首席客演指揮者、1997年から2004年までウィーン交響楽団の首席指揮者も務めた。

フェドセーエフはこれまでの偉大な功績に対し、ロシア政府はもろろんオーストリア政府、ウィーン市、オーストリア・アカデミー、グスタフ・マーラー協会などから数々の賞を受賞。2012年9月にはロシア正教会の最高位、キリル総主教からセルギー・ラドネジスキー最高位の勲章を叙勲した。

2025年10月12日(日) 15:20開場/16:00開演

サントリーホール 大ホール

Sunday, 12 October 2025 a 4p.m. at Suntory Hall, Main Hall

入場料: S¥12,000 A¥10,000 B¥7,000 U25¥2,000

全指定席・税込み ※U25席はサントリーホールチケットセンター(WEB・電話・窓口)のみ取り扱い。25歳以下、来場時に身分証提示要。お一人様1枚限り。

主催: サントリーホール / AMATI

協力: ソニー・ミュージックレーベルズ



サントリーホール 〒107-8403 東京都港区赤坂1-13-1
お問合せ: サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017
AMATI 〒107-0052 東京都港区赤坂1-14-5-5103
お問合せ: 03-3560-3010 https://www.amati-tokyo.com

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売:
2025年6月1日(日)10時~5日(木)
※先行期間中は窓口での販売はございません。

一般発売:
2025年6月6日(金)10時~